

**再評価【番号7】河川整備課**

**総合流域防災事業  
一級河川吉野川水系 熊谷川**



## 2. 事業概要

全体事業費

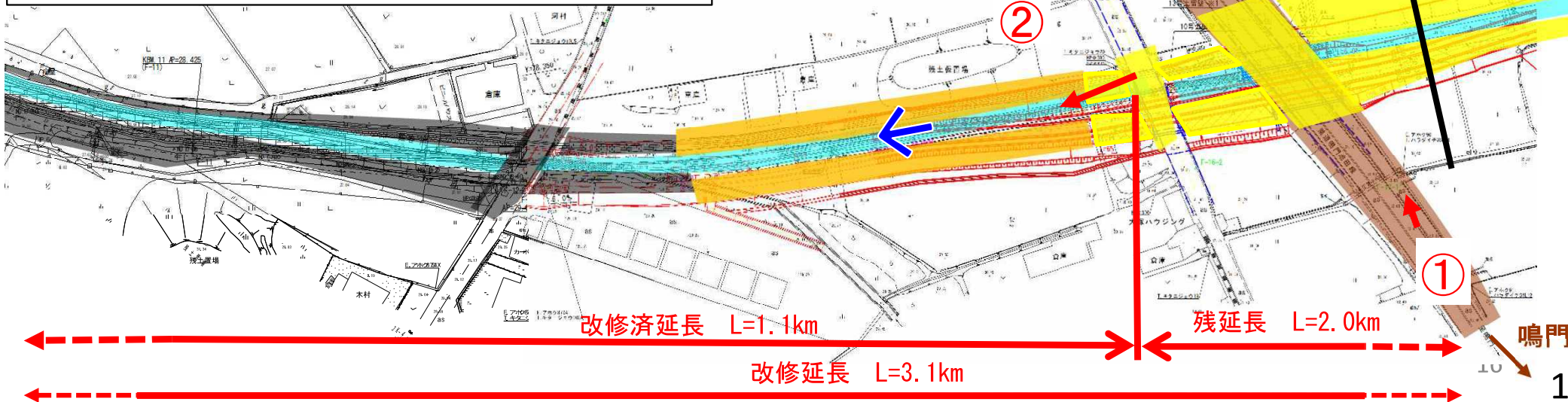
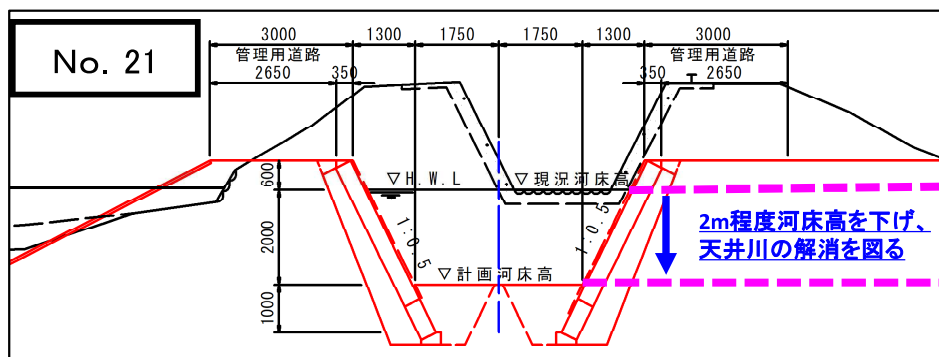
37.0億円 (変更なし)

完成時期

令和22年度 (2年延長)

《進捗率》

事業費: 29%・用地: 26%



# 3. 整備効果

## 貨幣換算可能な整備効果

### 【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓ 被害軽減期待額  
= 便益 B  
計 295.2億円

(現在価値化後)

費用 C = 50.5億円

(現在価値化後)

$$B / C = 5.8 \quad (\text{社会的割引率 } 4\%)$$

参考 B/C = 10.1 (2%)、13.6 (1%)

### 【水害の被害指標分析の手引きによる便益】



経済被害の域内・外への波及被害

交通途絶による被害

出水1回当たり150.0百万円  
の被害を軽減

出水1回当たり 2.0百万円  
の被害を軽減

出水1回当たり  
被害軽減額  
= 152.0百万円

計画規模(1/30)洪水浸水範囲

- : 整備前(198ha)  
床上浸水19戸  
床下浸水523戸
- : 現在(169ha)  
床上浸水13戸  
床下浸水470戸

# 4. 多様な効果

## 貨幣価値に表れない整備効果

### 【水害の被害指標分析の手引きによる便益】

#### 人的被害の軽減

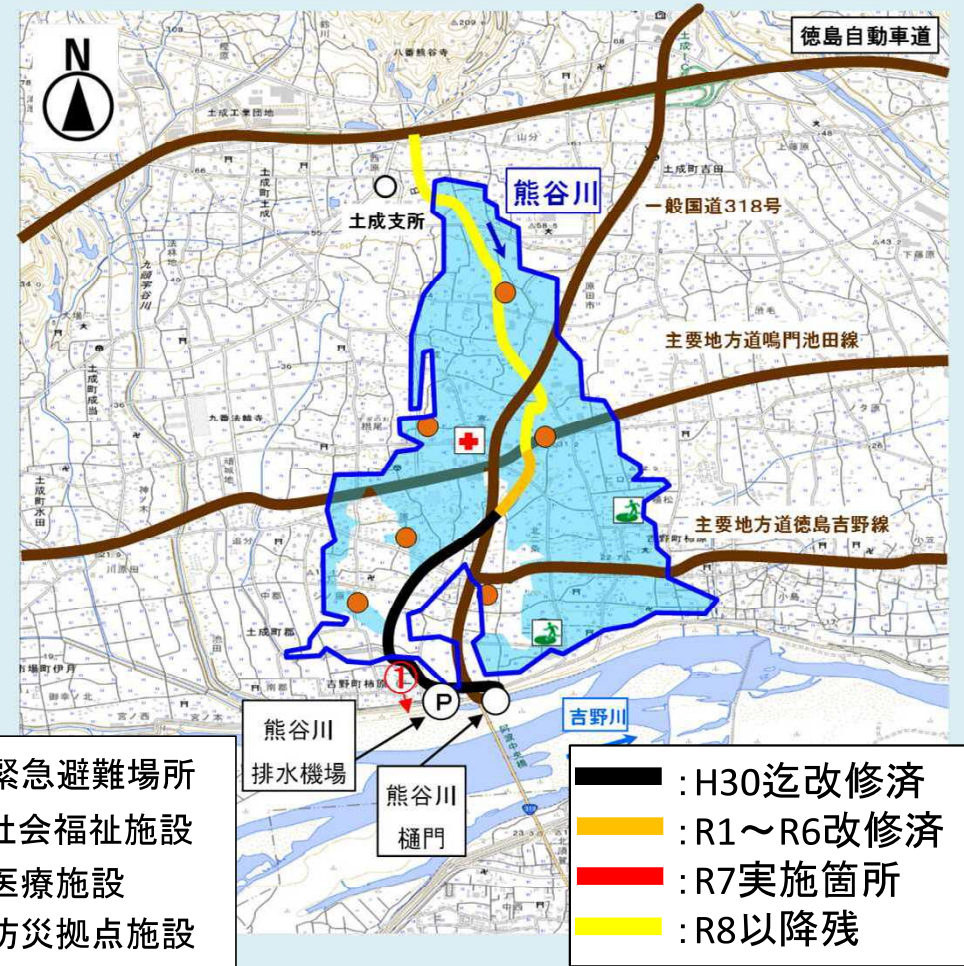
- ①浸水区域内人口 1,486人
- ②浸水区域内の災害時要援護者数 608人
- ③最大孤立者数 54人
- ④被災する事務所の従業員数 41人

#### 医療・社会福祉施設等の機能低下による被害の軽減

- ①機能低下する医療施設 1施設
- ②機能低下する社会福祉施設 1施設

#### ライフライン停止による波及被害の軽減

- ①電力停止による影響人口 19人
- ②ガス停止による影響人口 1人
- ③通信(固定)の停止による影響人口 20人



#### 計画規模(1/30)洪水浸水範囲

- : 整備前(198ha)  
床上浸水19戸、床下浸水523戸
- : 現在(169ha)  
床上浸水13戸、床下浸水470戸

## 5. 事業評価結果

### 貨幣換算可能な整備効果

#### 【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓ 被害軽減期待額  
= 便益 B  
計 295.2億円  
(現在価値化後)

費用 C = 50.5億円  
(現在価値化後)

$B / C = 5.8$  (社会的割引率 4%)  
参考  $B / C = 10.1$  (2%)、 $13.6$  (1%)

出水 1 回当たり被害額 = 152百万円  
(交通途絶被害、経済の波及被害)

### 貨幣価値に表れない整備効果

#### 【「水害の被害指標分析の手引き」による便益】

##### 人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少
- ④ 被災する事業所の従業員数の減少

##### 医療・社会福祉施設等の機能低下による被害の軽減

- ① 機能低下する医療施設  
1 施設
- ② 機能低下する社会福祉施設  
1 施設

##### ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② ガス停止による影響人口
- ③ 通信(固定)の停止による影響人口

#### ■ 今後の対応方針 (案)

事業継続